

# よりた寺通正

令和三年年末号

## ミズノエトラ

来る令和四年は壬寅。ミズノエは十干では陽

トラは十二支で陽。またミズノエは水

トラは木を表します。つまりこの年は長い冬

冷たく暗い土の下で歯をくいしばって耐え

てきた種子が、あたたかい陽の水によって

芽生える運勢の年ということになります。

新しい年は暗かったコロナの時を越えて、勢いよくスタート

したいものです。

正通寺の本尊薬師如来は十二人の將軍を引き従えておられますが、

その中の一人シンダラ大將は寅年の守り神です。

お寺に来られたときは本堂のお薬師さまに手を合わせていた

だけば、必ずシンダラ大將のご加護があるでしょう。



## 来年の年忌

|       |        |
|-------|--------|
| 一周忌   | 令和三年   |
| 三回忌   | 令和二年   |
| 七回忌   | 平成二十八年 |
| 十三回忌  | 平成二十二年 |
| 十七回忌  | 平成十八年  |
| 二十五回忌 | 平成十年   |
| 三十三回忌 | 平成二年   |
| 五十回忌  | 昭和四十八年 |

疫病は「行役神」といわれます。正通寺は毎日のお勤めの時、この行役神に般若心經をとнаえて鎮まりを祈念しています。このたびの行役神はなかなかてごわく力不足を痛感します

平安時代には陰陽師がこの行役神を退ける仕事をしていたそうです



真言宗では一人前の資格を得ればあじやり阿遮梨と呼ばれます

阿遮梨にならないければお葬式の導師を勤めることができません。

このたび次男の祐海が阿遮梨となり、正通寺には阿遮梨が三人となりました。これは江戸時代以後はじめてのことです。

とはいえ勉強はこれから。みなさまにはあたたかくお見守りいただきたいと思います。